

## 羅針盤



2019年2月7日(木) 第74号

「野心がなければ何も始められない。努力しなければ何も終われない。褒美とは贈られるものではなく、勝ち取るものだ。」ラルフ・W・エマーソン(アメリカの思想家(1803～1882))

## 学年末考查まで一週間。 進路実現につながる学習・準備を。

今年度の学習の成果を問う最後の定期考查「学年末考查」まで一週間。センター試験まで約11か月という位置にいることを踏まえ、これまでの考查に取り組んできたのとは違った意識での取り組みを期待したい。

- ① しっかりと理解を深め、受験に向けて知識等を確かなものにしてほしい。当然、“一夜漬け”のような、“その場しのぎ”は論外だ。学校の勉強と受験勉強は、決して別物ではない。考查前の復習も、自分自身の進路実現に直接つながっていると自覚して取り組んで欲しい。
- ② 良い習慣を身に付けて欲しい。学習に関する習慣もそうだが、それだけではない。小テストをやると、相変わらず無記名の答案が必ずある。入試だったら自滅行為だ。先月の模擬試験でも、受験番号の記入漏れ・間違い、無記名などで何人もの人が注意を受けていた。“悪い習慣”は簡単に身に付いてしまう。楽だからだろう。良い習慣を身に付けるには、常に注意やそれなりの努力が必要になる。
- ③ 生活リズムを整えよう。試験中に眠くなるような生活リズムの中で勉強しているならば、改めるべきだろう。徹夜に近いような生活では、体調を崩すリスクも高まる。学習時間をしっかり位置付けた生活リズムを、しっかり作って考查に臨むことも、進路実現につながる一歩です。

		2018年度「学年末考查」 考查時間割		
		1校時	2校時	3校時
14日(木)	文	数学Ⅱ	保健	現代文
	理	数学Ⅱ	保健	現代文
15日(金)	文	コミュ英語Ⅱ	家庭基礎	日本史B / 世界史B
	理	コミュ英語Ⅱ	家庭基礎	化学
18日(月)	文	政治経済	古典	地学基礎
	理	地理B	古典	生物 / 物理
19日(火)	文	日本史A / 世界史A	数学B	英語表現Ⅱ
	理	世界史A	数学B	英語表現Ⅱ

※体調不良で考查を欠席する場合は、必ず病院を受診し、処方箋などを取っておいてください。追考查が受けられなくなりますので注意してください。

2月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
7日	木	学年末考査1週間前(部活・入室制限)	数B提出	考査に向けて
8日	金	40分授業日		
9日	土			
10日	日			
11日	月	「建国記念の日」		
12日	火			考査に向けて
13日	水			
14日	木	学年末考査(1日目)		
15日	金	学年末考査(2日目)		
16日	土			
17日	日			
18日	月	学年末考査(3日目)		考査に向けて
19日	火	学年末考査(4日目)		
20日	水	(追考査)		国語
21日	木	(追考査)		総合
22日	金	進研マーク模試(放課後)		英語
23日	土	進研マーク模試	国・数	
24日	日			
25日	月		国語課題提出	数学

☆2/14～19「学年末考査」

3連休も含め、計画的に、そして意味のある学習を。

☆2/22～23「進研マーク模試」

考査が終われば、いよいよ初のマーク模試。来年のセンター試験に向けて、まずは自分の実力と、目標までの距離感を把握しましょう。マークシートへの解答になれるためにも、良い経験となるはずです。受けっぱなしにせず、すぐに解説を確認し、定着に向けた復習に取り組みましょう。

☆国公立2次試験

前期日程試験は2/25以降に行われる。

## 7組 匿名希望

皆さんは、コーラのブライディング実験を知っているだろうか。この実験では、[①コカ・コーラとペプシを、どちらか分からない状態で被験者に試飲してもらい。②コカ・コーラとペプシどちらかが分かる状態で同様に試飲してもらい。]というように行います。①の実験では、ペプシの方が好きという人が多かったのに対し、②の実験ではコカ・コーラの方が好きという人が多かった。このことから分かるのが「名前」というブランドの力だ。ただの水道水でも、天然水だと言って飲ませた方が、きっとおいしく感じるだろう。

物に対して働く力が、人に対して働かないという道理はない。どこの大学を出たかという「名前」のブランド力は、少なからず将来役に立つだろう。

## 8組 笹島 和輝 『古典の苦手な人に』

私たちが今学んでいる「古語」も1000年前は「現代語」であった。ということは、私たちにとっての「現代語」も、いずれ「古語」になるのだろう。そしてそれは、かなり難解なものだ。例えば、多義語について考えてみると、その度合いが分かる。未来の古語辞典に「やばい」という言葉を載せる場合、完璧に網羅するには何十種類の意味を付けてやれば良いのだろうか。「かわいい」という言葉がカバーできる意味合いの広さに、未来の学生は何を思うだろう。自分がその立場になって「30××年大学入試 古典」に「次の波線部『やばい』をわかりやすく説明せよ」なんて問題が出た日には、たぶん発狂する。私の言いたいことは、「そう考えたら、今の古典って楽なんじゃないか」ということだ。そんな幻想に過ぎないなどと思われるかもしれないが、重要なのはそこではない。「今日の古語は過去の現代語。今日の現代語は未来の古語」この考えによって、古典に苦手意識をもつ人の意識を少しでも変えられたなら、この文章を書いた価値は十分にあるだろうし、私はそれを願う。